

| | | | |
|--|---|--|---|
| 5 | 人工知能入門 FGE-CCS-222 | | 選択 1単位 1年後期 |
| | Introduction to Artificial Intelligence | | |
| 全学科1年全組 准教授 中山 英久 非常勤講師 丸山 次人 | | | |
| 授業の達成目標 | | | 授業形態 |
| 人工知能 (AI, Artificial Intelligence) とはどのようなものか、AI 技術や AI に関する幅広い知識について学び、人工知能のジェネラリストとしての素養を高めることが目標である。 | | | <input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) |
| | | | <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一編に担当) |
| | | | <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) |
| | | | <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する) |
| 授業の概要 | | | 該当科目 |
| AI 発展の経緯や、機械学習およびディープラーニングの概要、手法に関する知識を学ぶ。 JDLA 主催のG検定ジェネラリスト試験の出題範囲に沿った問題を通じ、問題に関連する AI の知識について学ぶ。 将来的に AI 関連事業に携わる場合、AI に関する事柄で話が出来る、円滑に事業が進められるよう、多くの AI 技術を知識として蓄える。 | | | <input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) |
| | | | <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) |
| | | | <input type="checkbox"/> 地域志向科目 |
| 実務経験を活かした教育について | | | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 |
| 民間企業において研究開発に従事した実績を踏まえ、その経験談から実務への対応力を学ぶ。 | | | <input type="checkbox"/> アクティブラーニング |
| 授業計画 (各回の学習内容等) | | | |
| | 学習内容 (授業方法) | 学習課題 (予習・復習) | 時間(時) |
| 第1回 | 人工知能をめぐる歴史と動向 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第2回 | 機械学習の基礎 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第3回 | 機械学習の具体的手法 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第4回 | 人工知能の基礎数学 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第5回 | ディープラーニングの概要 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第6回 | ディープラーニングの手法 | LMS に掲載される資料を事前に閲覧して予習する。資料等を活用して各授業内容を復習し、LMS の確認テストを受ける。 | 4 |
| 第7回 | まとめと総復習 | これまで学んだ部分を予めまとめておく。資料等を活用して各授業内容を総復習する。 | 4 |
| 第8回 | | | |
| 第9回 | | | |
| 第10回 | | | |
| 第11回 | | | |
| 第12回 | | | |
| 第13回 | | | |
| 第14回 | | | |
| 教科書・参考書等 | | | |
| 教科書：『徹底攻略 ディープラーニング G 検定 ジェネラリスト問題集』明松真司 他 著，インプレス | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 学習支援システム (LMS) で実施される確認テスト6回について、すべて合格点をとること。 | | | |